

# 25 journal

society&business Tokyo25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

## 元村課長 吉本氏が立候補 檜原村長選

### 「村として産廃施設阻止」を掲げる

# 坂本氏 6選目指し準備

統一地方選で行われる檜原村長選(4月18日告示、同23日投票)に、元村総務課長の吉本昂二氏(70)が1月27日、同村人里地区の産業廃棄物焼却場建設計画を阻止するとして無所属で立候補を表明した。現職の坂本義次氏(78)も6選に向け準備を進めているという。選挙戦となれば8年ぶり、地域に根差す地元出身同士の対決は坂本氏が初当選した2003年以来20年ぶりになる。

「自然豊かな檜原村に産廃施設はいらない」と訴える「檜原村の産廃施設に反対する連絡協議会」会長を任され、人里地区に住む吉本氏は記者会見で、「村として明確に建設に反対するため」と立候補の動機を語った。産廃施設は比留間運送(本社・武蔵村山市)が計画。高さ45層の煙突などを備え、24時間稼働1日96ノ、年間最大3万5000トの汚泥や廃油などの産廃を焼却する。現在、事業者から廃棄物処理法に基づく設置認可申請が都に提出され、審査が行われている。

ただ、建設予定地周辺については、都議会や専門家からも「地滑りや崩壊、土石流の危険がある」などの指摘が出ています。こうした事態を受

け、村議会は反対を全会一致で議決。坂本村長も「村は建設を望まない」と反対の考えを示したが、反対住民派は「明確さに欠ける」と不満を漏らしている。

吉本氏の立候補は坂本氏にとって想定外。選挙戦では建設を断固阻止するという吉本氏に坂本氏がどう対応するかが注目される。都をはじめ多方面にパイプを持つのが坂本氏の強みだが、産廃施設に關しては逆に足かせに働く可能性も少なくはない。

**不動産全般**  
(公社)全日本不動産協会 (公社)不動産保証協会  
東京都知事免許(2)第95965号

**有限会社 幸邦**

代表取締役 **田村 実**  
羽村市羽西 1-6-27  
Tel.042-555-7901 Fax.042-555-7902

れていた。20年前の選挙も、坂本氏と高橋亨氏が激しい選挙戦を展開。170票差で坂本氏が初当選を果たした。

開票の際に見守った新聞各社が、当選確実が出る前に高橋氏の勝利を確信し、高橋事務所に集まり周辺首長らと万歳をしようとした。

吉本氏は檜原村役場に40年余り勤務。福祉健康課長、総務課長など務めた。

## わが民謡人生に悔いなし

### 羽村市 伊庭末雄さん(ソニー)



「檜原萱刈り唄」などを披露する伊庭さん(中央)。変わらぬ美声を講堂に響かせた

羽村市川崎の宗禅寺で1月28日、土曜講座が開かれ、ソニーミュージック所属の民謡歌手で、羽村市で民謡の伊庭会を主宰する伊庭末雄さんが「民謡ひとすじ」の人生を語り、伊庭さんがライフワークで取り組む多摩地域の民謡から「檜原萱刈り唄」などを披露した。20人余りが傾聴した。

伊庭さんは自己紹介を兼ねて故郷から語り始めた。生まれは福島県郡山市田村町田母神。歌の好きな少年で、風呂に入ると大きな声で三橋美智也の曲などを歌っていたという。高校を卒業して、三鷹市にある日本無線に就職。川越工場へ入社式があり、帰路のバスの中で順番に歌を披露する中、宮城県出身の

女性が歌った「さんざ時雨」がやけに耳に残った。「さんざ時雨」が収録されている民謡のLP盤を買い求め、聞いてみると、いい歌がいっぱいあった。「いい声をしているな」と会社の民謡同好会に誘われて入会。発表会に出ると歌の上手い人ばかり。上手になりと思ひ、毎日昼休みに練習するようにになった。大会にも出た。最初は歯が立たなかったが、次第に上位になり、優勝するようになった。突然人生を変える出来事が起きる。ソニーレコードから「専属歌手にならないか」とよくあった。就職して状況した当時は福生市の加美平団地に住んでいた。子どもができ、手狭になったことで羽村市に一人建てを求め、移り住み現在に至っている。

「いい声をしているな」と会社の民謡同好会に誘われて入会。発表会に出ると歌の上手い人ばかり。上手になりと思ひ、毎日昼休みに練習するようにになった。大会にも出た。最初は歯が立たなかったが、次第に上位になり、優勝するようになった。突然人生を変える出来事が起きる。ソニーレコードから「専属歌手にならないか」とよくあった。就職して状況した当時は福生市の加美平団地に住んでいた。子どもができ、手狭になったことで羽村市に一人建てを求め、移り住み現在に至っている。

「サラリーマンで一生過ごすつもりだったが、またまた歌手になった。多くのテレビ番組に出演させてもらい、歌手としていい思いをしています。」

話をしたのは伊庭会の会員らと多摩の民謡を披露。変わらぬ美声を講堂に響かせた。 ※「如是我聞」では土曜講座を連載でレポートします。



週刊平凡創刊1000号

「如是我聞」では土曜講座を連載でレポートします。